

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田中貴金属工業株式会社 FC船渠開発センター新棟建設工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市長瀬12、14-2、16	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	103人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年4月3日
敷地面積	1,544 m ²	作成者	千代田テクノエース株式会社
建築面積	504 m ²	確認日	2017年4月3日
延床面積	2,062 m ²	確認者	千代田テクノエース株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	工業専用地域に建つ工場として、建築物の環境品質を高めると同時に、周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	対象外。	Q3 室外環境(敷地内) ①外構緑化指数=49.19%、空地率=66.57% ②緑被率、水被率、中高木の水平投影面積=32.74%
LR1 エネルギー	①BELm=0.77	LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=89% ②光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設置しない。
Q2 サービス性能	①床=ビニルシート(20年)、壁=ビニルクロス(20年)、天井=ビニルクロス(30年) ②ダクトは亜鉛鉄板のほか、外部等にガルバリウム鋼板製を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	①自動水栓のほか、節水型便器を採用している。 ②LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される